

第3回トレーサビリティテストのご案内

本当にその商品の トレーサビリティは大丈夫ですか？

とっさの時に商品情報のトレースができるとは限りません。
定期的に訓練をしておくことが大切です。

試そう！トレーサビリティ

実施日

①生鮮食品系（農産、水産、畜産、米、卵）

2010年6月15日（10時開始）

②加工食品系（加工食品全般、農産加工、水産加工、畜産加工、卸）

2010年6月22日（10時開始）

※対象の商品によって実施日が異なりますのでご注意ください。

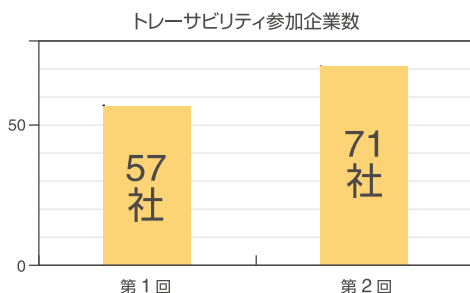
トレーサビリティテストとは・・・

食品のトレーサビリティの仕組みが正常に働くかどうかは実際に事故が起きてみないと分かりません。そこで日本トレーサビリティ協会では実際に事故が起こったことを想定し、商品の情報が本当にトレースできるかを検証する為にトレーサビリティテストを実施致します。

トレーサビリティテストでこんなことがわかります！

- ・自社のトレーサビリティの力を客観的に知ることができる。
- ・テスト結果の報告書をお渡しいたします。業界内のトレーサビリティレベルを確認することができます。

参加企業の推移



食品の安全・安心の高まりとともに
トレーサビリティテストへの
参加企業、団体数は増えております。

参加企業様の声（一部抜粋）

- ・今回のテストにて感じたことは、以前なら鮮魚品の荷主（漁組他）の対応があまり良くなく1つの質問に対して、たらいまわしにされるような感がありましたが、今回の調査においては対応がスムーズに行われ、弊社現場担当者とのコミュニケーションの向上も感じら大変勉強になりました。
- ・営業サイドでは管理しきれていない部分も工場等ではしっかりと情報が管理されていることが実感出来た。
- ・生産拠点が海外のため、今回は担当者に連絡し、待機しておりましたが、実際の場面では担当者不在の場合の連絡方法等今後の課題が残る。
- ・日頃より工場、物流、営業本部との意思疎通を図る事の重要性を再認識しました。

テストに参加してよかったという声を多数いただきました。

実施方法

- ①参加企業・団体様の取扱い商品を協会で選定いたします。事前にテストに必要な情報を実施日の決まった時間に協会から配信します。
- ②参加企業・団体様は配信された商品のロット情報に従って商品や原料の「遡及・追跡」調査を行います。
- ③調査結果と終了時間を報告書に記入し協会にFAXまたはメールをして終了

尚、詳しいトレーサビリティテストの実施要綱やフォームの見本は、協会ホームページをご覧ください。

<http://www.jtrace.jp/index.html>

参加申込書（日本トレーサビリティ協会 第3回トレーサビリティテスト参加申込書）

企業・団体名		
テスト責任者氏名		
上記の方の連絡先	TEL	
	FAX	
	Eメール	
使用する報告書を選択して○をしてください。	農産・水産・畜産・卵・米・加工食品・卸	

申込期限／2010年6月1日(月)迄

お申し込み・
お問い合わせ先

FAX 011-671-5744

TEL 011-671-2709 担当 中村、相羽、佐々木